

03.1



上：縫う前に革パーツの目抜きした部分を本体木枠にもドリルで穴開けします。
左：1本縫い。先に等間隔開けた穴に、1針1針糸を通します。

工程5 手縫い

革は一度穴を開けると、そのまま穴として残ります。このため針で糸を通す前に、等間隔で穴をあけてその穴を縫っていきます。本体の木枠も、力加減で割れる場合があるため、作業は慎重です。鞆の糸目の1つ1つに、職人の心が込められていきます。



上：内装は端の隅々まで細かく張込まれていきます。
右：内装を待つ行列

工程6 内装

本体外側の作業が終わると、いよいよ仕上げが近づいてきます。金具の取付がすむと、内装が隅々まできれいに貼られ、最後の仕上げと検品が行われます。



仕上げと検品中

